

平成 24 年度 『四季の郷短期入所』 事業報告書

1. 短期入所

①受け入れ実績

平成 24 年度の受け入れ実績は以下の通りである。

月	男 (のべ日数/実人数)						月計
	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	
4		6/1	13/2	58/8	16/5	4/1	97/17
5		6/1	14/1	45/6	22/6	31/1	118/15
6			13/1	49/7	18/6		80/14
7		6/1	8/1	53/7	20/6		87/15
8		4/1	13/1	49/7	33/6		99/15
9		6/1	9/1	80/10	19/5		114/17
10		4/1		57/8	22/6		83/15
11		4/1		55/7	21/6		80/14
12		6/1	2/1	51/7	21/5		80/14
1			2/1	46/6	20/5		68/12
2				53/7	18/4	3/1	74/12
3		6/1	32/2	53/7	24/5	3/1	118/16
区分 別日 数計	0 日 0 人	48 日 9 人	106 日 11 人	649 日 87 人	254 日 65 人	41 人 4 人	1098/176
合計 年度 比較	平成 24 年度 のべ 1,098 日 / 176 人 平成 23 年度 のべ 1,564 日 / 166 人						

月	女 (のべ日数/実人数)						月計
	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	
4		4/1		30/1			34/2
5		2/1		31/1			33/2
6		4/1		30/1			34/2
7		18/1		35/3	3/1		56/5
8		3/1	5/1	35/2			43/4
9			1/1	34/2	5/1		40/4
10				31/1			31/1

11				31/2			31/2
12			3/1	31/1			34/2
1			4/1	35/2			39/3
2				28/1			28/1
3			2/1	38/2	3/1		43/4
区分 別日 数計	0日 0人	31日 5人	15日 5人	389日 19人	11日 3人	0日 0人	446/32
合計 年度 比較	<p style="text-align: center;">平成24年度 のべ446日/32人 平成23年度 のべ415日/27人</p>						
男女 合計 比較	<p style="text-align: center;">●合計数：平成24年度 のべ1,544日/208人 平成23年度 のべ1,978日/193人</p> <p style="text-align: center;">●一日平均利用者数：4.2人 <定員8名> 年間稼働率 52.9% (23年度67.5%)</p>						

②受け入れの状況

今年度受け入れについては、以下のような特徴・傾向が見られた。

(1) のべ利用者日数の減少と利用実人数の増加が見られたこと

まず、のべ利用者日数の減少は、いわゆる短期入所事業の長期利用者が減少したことがあげられる。ただし、この長期利用の終了は、自宅に帰ることができたのではなく施設入所に移行したということである。引き続き、短期入所事業の長期利用は、生活施設の入所待機となっている現状が見られている。また、全般的にも事業利用者の減少もその原因の1つであるが、例えば浜松市以外の利用者が激減したことからもわかる通り、障害者自立支援法の成果でもあるのか、市外の施設・事業所の短期入所定員の増加や事業数の増加が見られ、以前のように遠くの施設を利用することが少なくなっていることも考えられる。

加えて、実人数の増加は新規利用者が増加したことがその理由である。特に今年度は、●児童入所施設利用中の年齢超過している利用者の利用が多かったこと●同じ通所施設を利用している複数の利用者の同期間での利用があったこと●自宅で介護が困難になっている自閉症等の利用者の利用があったこと、等が見られた。

利用につながる経緯については、利用者から直接四季の郷に問い合わせがあって面接して・・・というものより、障害者相談支援事業所を通して面接、利用・・・というケースが目立っていた。

(2) 前年度に比べ女性の利用者が増加したこと

利用者の多くは男性であったのは前年度と同様であったが、その中でも今年度は、女性利用者の長期利用など、のべ日数的にも女性利用が増加した。長期利用については、男女関係なく親の介護の継続ができなくなったことがその理由であるが、印象的には、問題行動が見られるなど、やはり自宅での介護が困難な状態であることが推察された。

③生活支援

新規利用希望者については、必ず面談を行い、日帰り利用や一泊試行利用等から利用者に無理にならないよう配慮しながら受け入れを行った。相談支援事業者や精神科病院からの依頼については、必ず本人・ご家族はじめ関係者を交えたケア会議・調整会議等を行った。

支援体制面では、日常支援は棟単位の同性職員での関わりを継続してきた。課業活動支援についても、他の入所利用者同様に、課業活動参加等の誘いかけも行ってきた。しかし、いわゆる緊急利用的なことでの利用も見られ、利用者本人が必ずしも利用に納得して利用している状況ではないため、ちょっとしたことで他の利用者とトラブルになったり、無断外出につながったりするなど、対応に苦慮する場面も見られた。

2. 日中一時支援事業

①受け入れ実績

平成 24 年度の受け入れ実績は以下の通りである。

月	浜松市（実人数・のべ時間）		磐田市（実人数・のべ時間）	
	男	女	男	女
4	3人・57時間	3人・168時間		
5	3・60	3・163		
6	2・44	3・204		
7	2・67	4・195		
8	2・27	3・170		
9	2・55	3・208		
10	3・65	3・207	1・8	
11	4・71	4・214		
12	2・60	5・196		
1	2・71	4・183		
2	2・61	4・209		
3	2・66	4・187		
計	29人 704時間	43人 2304時間	1人 8時間	0人 0時間
	3016時間（平成23年度 1888時間）			

②受け入れの状況

今年度も、市町の地域生活支援事業の一つとして、浜松市と磐田市の2つの市町と委託契約を締結し事業を実施した。

今年度も男性より女性利用者がかなり多かった。通所事業利用者が親・家族の仕事が終わるのを待つという利用と、通所施設が休みになる土・日曜日の利用が目立っていた。特に年度末頃より通所施設利用後の利用希望が急増した。定員的な問題や迎えが四季の郷の夕食や入浴時間に重なるなど、体制的に対応が困難な状況も見られ、受け入れを断らざる得ないケースもあった。